



本丸だより

令和5年度 第11号 令和6年2月29日(木)

新発田市立本丸中学校

新発田市緑町2-7-22

TEL 0254-22-2525

FAX 0254-22-0342

<https://honmaru.shibata.ed.jp/>

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

本丸中学校ホームページ

極楽のうどん

～ 利他の心 ～

校長 三浦 学

笑顔の春、幸せの春へ。卒業式、公立高校入試、希望する進路の実現、修学旅行等に向け、保護者ご家族の皆様のご理解、ご協力、ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2月21日の全校朝会で次のような話(抜粋)をしました。

あたたかく心を込めて送り出せるよう、卒業生のために、よろしくお願いいたします。

さて、1年前の雪がどかっと降った朝、朝練で早くきた2年生、今の3年生のある人が玄関前で私にこう言いました。「校長先生、雪かき手伝いましょうか」。本当に嬉しかったです。また、他のある人たちは、廊下のモップがけ、玄関のはき掃除をしてくれました。本当に素晴らしいことでした。きょうは、そんな「利他の心」、他の人のためにという心について話をします。

正月の能登半島地震の復旧、復興の動きが少しずつ進んでいます。これまでも救助活動や医療の活動、ボランティア、募金など、被災者の皆さんのためにさまざまな支援活動が行われてきました。まさに、被災者の皆さんのために、人のために、という「利他の心」の現れだと思えます。

「利他の心」について、円福寺(京都)というお寺の老師が次のようなたとえ話をされたそうです。地獄と極楽でのうどんの食べ方の話です。うどんは大きな釜に入っており、長さが1メートルほどの長い箸を使うしかありません。地獄の人は、皆、我先にうどんを食べようと争って箸を釜に突っ込んでつかもうとしますが、あまりにも箸が長く、うまく口に運べません。しまいには人がつかんだものを奪おうとして争いケンカになって、目の前のうどんを口にできません。

では、極楽の人々は、どうしたのでしょうか？極楽では、みんな自分の長い箸でうどんをつかむと、釜の向こう側にいる人の口へと運び「あなたからお先にどうぞ」と食べさせてあげる。そうやって食べた人も「ありがとう。次はあなたの番です」とうどんをとってあげます。ですから、極楽では、みんなおだやかにうどんを食べることができ、満ち足りた心になれる」のです。

このお話のように、人のためにという利他の心をもてることは、他の人を見る広い視野をもてること。目配りができるようにもなります。そして、他の、反対側の人に先に食べさせてあげようという正しい判断ができるようになります。みんなが食べられて、うまくいい方向にいきます。一人にとって自分にとっていいだけでなく、みんなが良くて利益が大きくなります。食べられないという困難を乗り越え成功を呼んでくれます。みんなが幸せになれます。

先の話のように、3年生は、みんなのためにと思い行動していました。最高学年として、みんなのために活動し、大成功に導いてきてくれて幸せな気持ちにしてくれました。まさに「極楽でうどんを食べる」人々のようです。(参考図書 稲盛和夫 著『生き方 人間として一番大切なこと』)

まだ、もう少し、受験勉強や寒い冬は続きますが、笑顔の春、幸せな春、ウェルビーイングな春に向けて、一日一日、利他の心で、みんな、歩んでいきましょう。

故稲盛和夫氏は、人間の心がより深い、清らかな至福感に満たされるのは、利他を満たしたときとし、広い視野・目配り・判断力をもて、困難を打ち破り成功を呼ぶ原動力になると言います。そして経営理念を、全従業員の物心両面の幸福の追求と人類社会の進歩発展に貢献することとしていました。別の著書で、その利他の土台の上に会社の急成長があったと言います(『心』)。 やってみようまず、身近な家族、職場の仲間、町・地域の人のためにできるかぎりのことをする。それ ありがとうが成長、成功、幸せにつながると言うのです。今後も変わらぬご支援をお願いいたします。

